

2K/4K/8K右旋左旋対応
船舶用自動追尾BS・CS受信アンテナ

BSD-70

取扱説明書 ・ 装備要領書

YOKOHAMA SYSTEM MARINE

有限会社 横浜システムマリン

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用に先立ちこの取扱説明書を是非一読下さいますようお願い申し上げます。
なお、性能向上のため仕様外観等の一部を予告なく変更することがありますので、
あらかじめご了承下さい。

目次		ページ
・ BSD-70 の特徴	1
・ 設置	2
・ 操作方法	3
・ トラブルシューティング	4
・ BSD-70 取付架台寸法図	5
・ アンテナ本体寸法図	6
・ 電源ユニット寸法図	7

BSD-70 の特徴

船舶用BS、CSアンテナBSD-70 は、船舶用に開発した衛星放送受信アンテナ装置です。

- 電源を入れるだけで、自動で電波を捕捉、追尾します。
本装置は、衛星からの電波を捉え、自動追尾をします。船舶が動揺したり旋回した場合も、常に安定した受信状態を維持します。
- 電源ユニットとアンテナを同軸ケーブル一本の接続で結線完了です。
- 簡単な設置
本装置は、ジャイロコンパスなどの信号は必要ありません。初期設定などの操作もいっさい不要です。本装置を取付架台に設置し、BS-IF信号用の同軸ケーブルを接続するだけでご使用いただけます。仰角駆動範囲が広いので、船体が大きく動揺しても電波を捕捉・追尾します。
- 標準構成

No	品名	型式	個数	
1	アンテナ本体	BSD-70	一式	
2	電源ユニット	PSD-70	一式	AC85V ~ AC265V
3	同軸ケーブル	S-5CFB	80cm	アンテナ⇄本船接続ケーブル
4	同軸ケーブル	S-5CFB	1m	両端FPコネクタ付
5	F型コネクタ	FP-5 / FP-7	各2個	S-5CFB / S-7CFB
6	取扱説明書(本紙)		1部	
7	ビニールテープ	10m 黒	一式	外部アンテナコネクタ防水用
8	自己融着テープ	エフコテープ 2号	一式	外部アンテナコネクタ防水用
9	アンテナ取付用ボルト		一式	SUSボルト 10×40mm、ナット 4組
10	電源ユニット取付ビス		4個	トラスタッピング 4x16
11	予備品	ヒューズ 250V 1A	2個	

アンテナ寸法図



官庁船・外航船・内航船

仕様 BSD-70

アンテナ 外観	横 50cm × 縦 65cm
アンテナの重さ	18.0kg (取付架台含む)
反射板の直径	45cm
入力電源	AC85V ~ AC265V
受信周波数	Ku-Band (11.7~12.75 GHz)
アンテナの利得	33dB
制御範囲	710°
Roll & Pitch 範囲	0° ~ +85°
Roll & Pitch 速度	±30°
回転速度	100°/秒
作動温度	-25°C ~ 55°C
保管温度	-40°C ~ 85°C
保証	品質の保証期間 1年

設置

① 設置場所の選定

以下の点に注意して、設置場所を選定します。

- 水没したり波をかぶりやすい場所は避けて下さい。
- 設置後のメンテナンスや故障の際、修理を行えるよう、取付架台の高さは800mm以下として下さい。
- 取付架台を設置する甲板部の強度に注意して下さい。できるだけ、取付架台はフレーム上に設置して下さい。
- レーダーの直接あたる範囲から外れた場所を選定して下さい。直接当たりそうな場所の場合は、レーダーからの距離を充分にとってください。
- 本装置から放送衛星を見たとき、障害物ができる限り少ないところを選びます。また、障害物がある場合でも、それによる影響が少ないところがあるはずですので、そのような場所を探して下さい。たとえば、航路が一定している船舶では、その航路中、放送衛星の見える方向は限定されますので、その範囲に障害物が入らないようにして下さい。

② 動作確認

1. アンテナ、同軸ケーブル、テレビ、周辺機器関係の接続を再度チェックして下さい。全て接続が済んでいるものとします。
2. 電源ユニット、TV、ブースター等全ての機器の電源をONにします。
3. レドーム内のパラボラアンテナが衛星の追尾を開始します。衛星の追尾を完了すると回転音がとまり、衛星放送の画面が写ります。

③ 外部の保守・点検

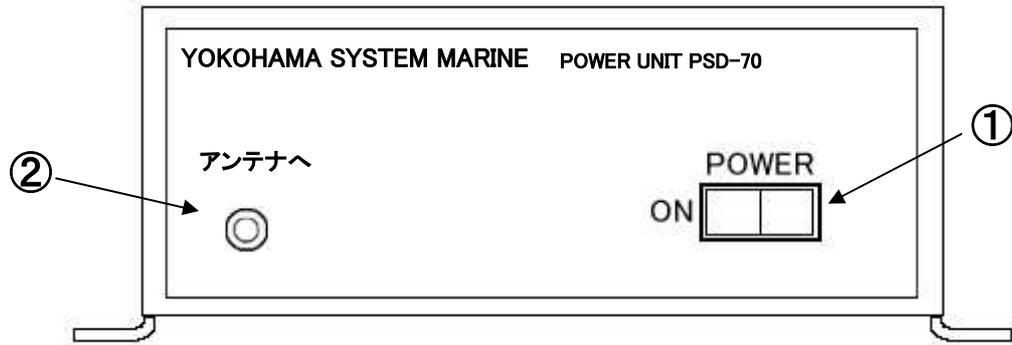
- レドーム
レドームの汚れは中性洗剤とやわらかい布で洗ってください。塗装は絶対に行わないで下さい。
- 取付台(架台)
必要に応じて、塗装して下さい。このとき、ネジ部、エア抜き穴はマスクして下さい。
- 本体取付ボルト、ナット
緩みがないか確認して下さい。

④ 使用上の注意

- 長時間、放送衛星から電波が届かないときは、電源を切ってください。
 - ・衛星の受信エリア外にいるとき。
 - ・長時間にわたって、本装置と衛星の間に構造物等がはいり、受信できないとき。
 - ・ドックに入っているとき
 - ・長時間、誰も放送を見ないとき。 等
- レドーム表面の汚れが目立ってきたときには、中性洗剤を用いて洗ってください。このとき、やわらかい布を用いて、レドーム表面に傷をつけないようにします。
注意：レドームの塗装は絶対に行わないでください。
- レドーム表面に付着した雪や氷は、電波の受信状態を極端に悪化させますので取り除いてください。
- 内部の点検等でレドームカバーを開閉するときは、レドーム取付ネジは全て取付して下さい。
- 性能維持のために、定期的に保守・点検を行ってください。

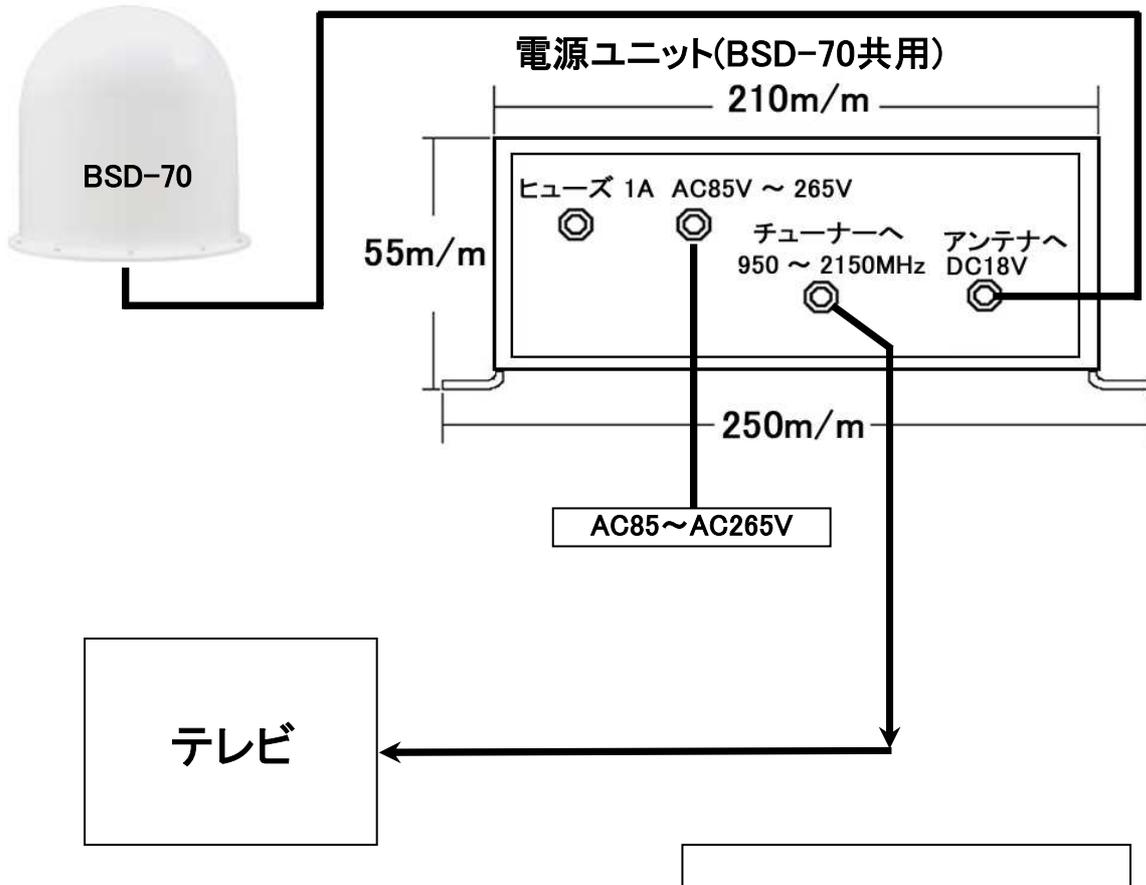
操作方法

電源ユニット



- ① 電源をONにする
- ② DC18Vライン(グリーンランプ点灯)を確認する
- ③ TVとチューナーの電源をONにする
TVとチューナーが一体型の場合はTVの電源をONにする
- ④ 約1~2分後にTVが映ります
お好きなBS, CS放送をお楽しみ下さい
- ⑤ あとは自動追尾します

アンテナ

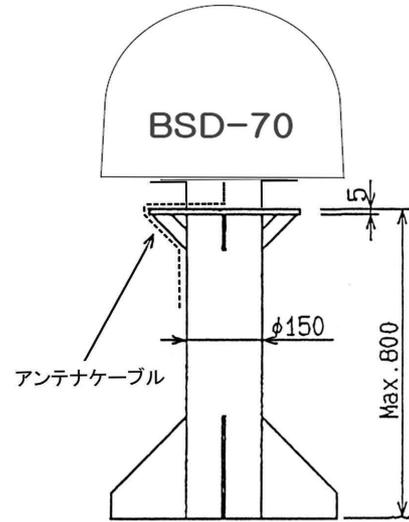
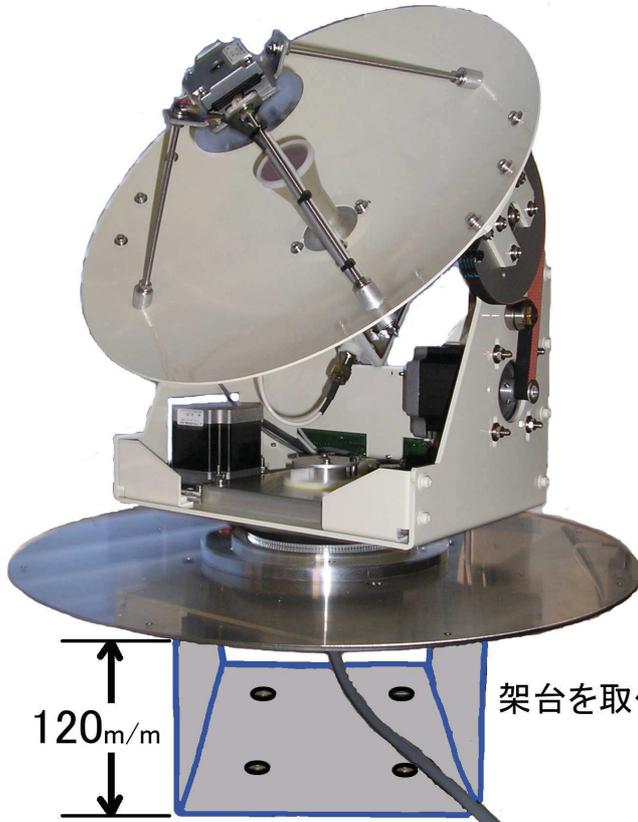


————— → S-7CFB 又はS-5CFB

トラブルシューティング

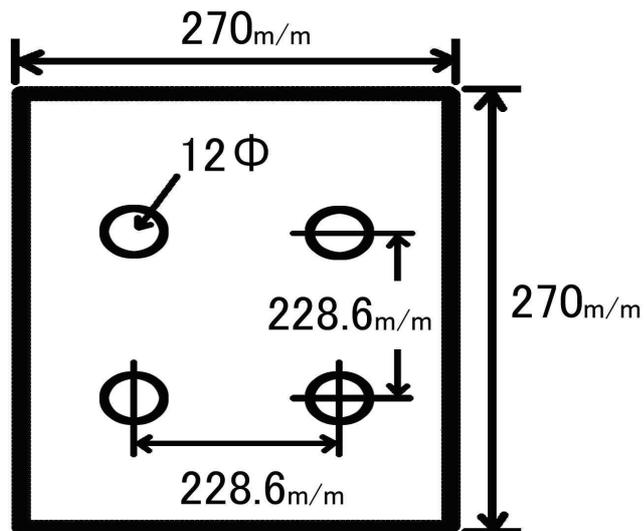
症 状	考えられる原因	処 置
電源が入らない	船の電源が(配電盤などで)切れている	船の電源を点検する
アンテナが動かない	電源ユニット(PSD-70)の電源が切れている	電源ユニットの電源を入れる(2 個の LED が点灯していれば電源は正常です)
	アンテナへのケーブルが外れて(切れて)いる	ケーブル、コネクタ、接続を点検する
	アンテナの故障 アンテナの誤動作	一度電源を切ってしばらくしてから電源を再投入してみる アンテナが動く音もしない時は販売店、もしくは弊社に連絡してください
映像が映らない	BS/CS テレビ本体が故障している。	BS/CS テレビを点検する 他の船室のテレビと比較、交換してみる。
	BS/CS テレビへの接続ケーブルが外れて(切れて)いる	ケーブル、コネクタ、接続を点検する
	電界強度が弱い 受信エリアから外れている	衛星がレーダーマストや船の構造物の影響もしくは周囲の建物の影になっている時があります、周囲の状態を確認してください。 衛星からの電波が到達しないエリアを船舶が航行している場合、衛星からの電波が到達できる範囲に移動すれば自動的に復旧して受信します。 (受信エリア以外でもアンテナは衛星を常に探索しています)
	アンテナが衛星を探している	しばらくお待ちください、衛星を見つけ次第映ります、時間が経過しても映らない場合一度電源を切ってしばらくしてから電源を再投入してみる
	天候不良	雪、強い雨などの荒天時は電波に影響が出るため映らなくなる場合もあります 降雪時はアンテナに付着した雪は除雪する

BSD-70 架台寸法図

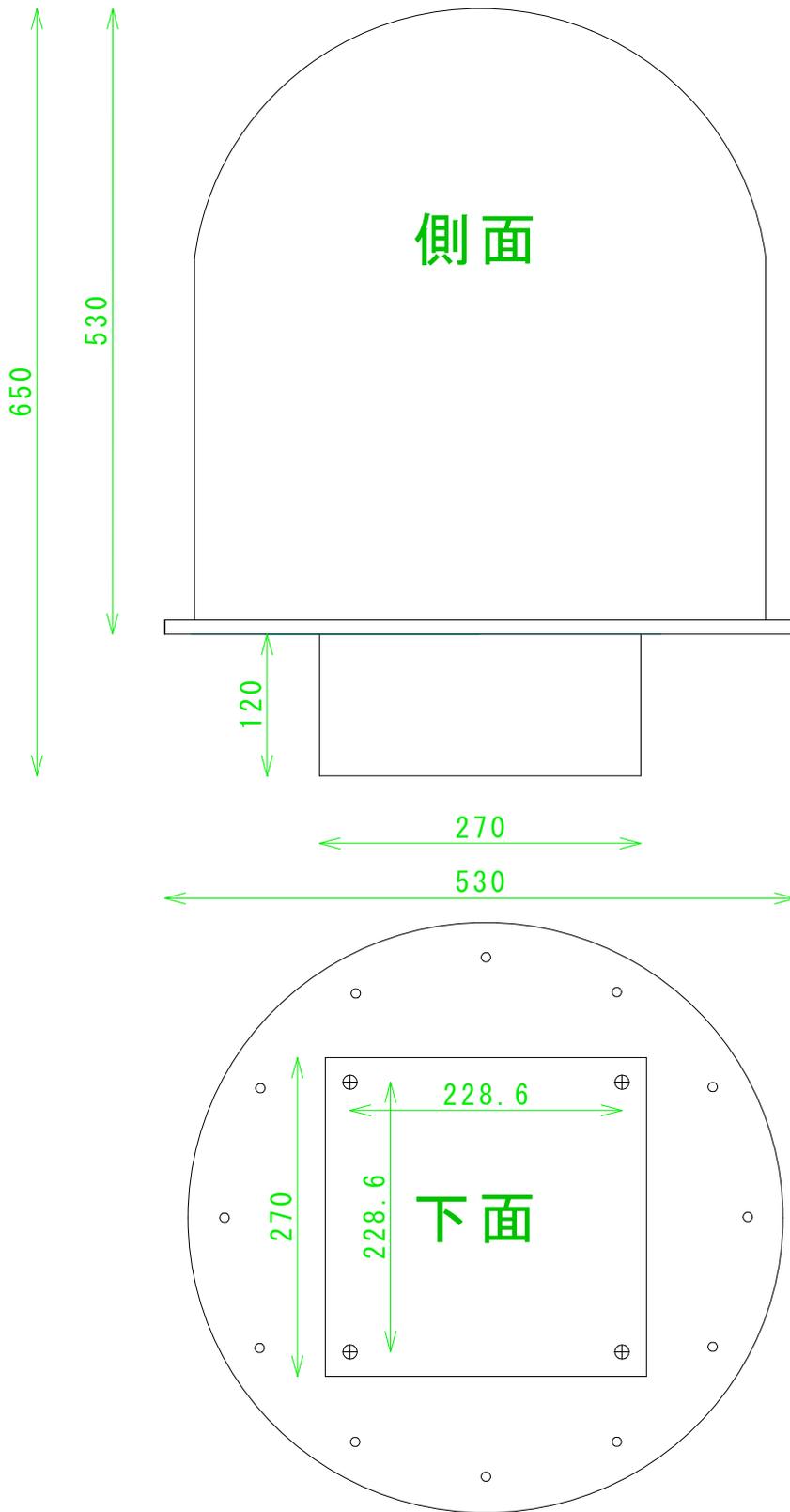


架台を取付けた状態で送付します。

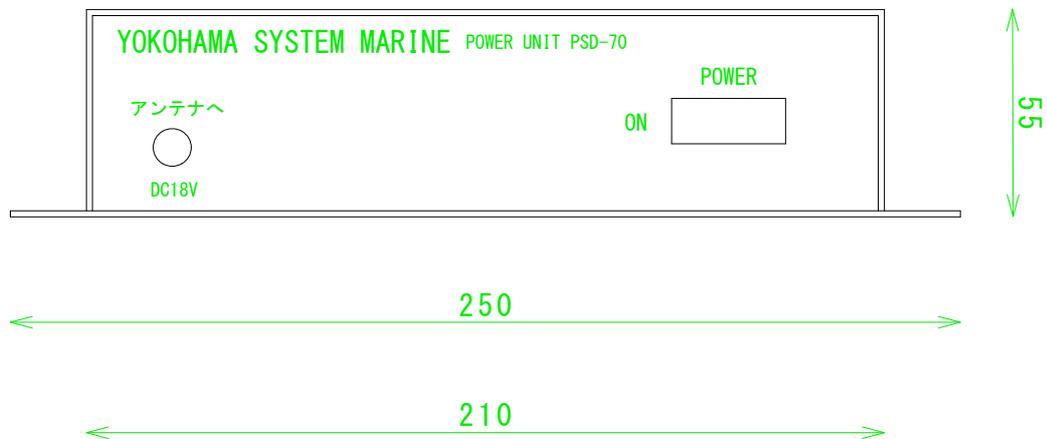
← 5C2V(80cm) 付



BSD-70寸法図



電源ユニット PSD-70 寸法図



その他 取扱品目

- 船舶用自動追尾 BS/CS 受信アンテナ
- 地上デジタル無指向性アンテナ

- 船舶用 AIS 受信機
- 船舶用 AIS 表示装置

有限会社 横浜システムマリン

〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南3-4-9

TEL 045-949-2025 FAX 045-941-5074